



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	50,361	2.7	25,323	5.3	25,878	5.5	16,485	4.6
27年3月期第3四半期	49,013	△0.5	24,055	2.6	24,518	2.6	15,759	9.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 16,610百万円 (5.4%) 27年3月期第3四半期 15,762百万円 (8.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	63.74	63.62
27年3月期第3四半期	60.97	60.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	169,809	150,448	88.0
27年3月期	174,106	144,039	82.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 149,408百万円 27年3月期 143,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	18.50	ー	19.20	37.70
28年3月期	ー	20.40	ー		
28年3月期（予想）				20.40	40.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	3.8	35,200	5.4	35,900	5.5	23,400	8.0	90.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	313,250,000株	27年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	54,579,435株	27年3月期	54,691,235株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	258,606,995株	27年3月期3Q	258,472,668株

(注) 平成27年3月期の期末自己株式数には685,600株、平成28年3月期3Qの期末自己株式数には591,000株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における自動車流通市場のうち、新車販売については、登録車が前年同期実績を上回ったものの、軽自動車は平成27年4月からの軽自動車税増税などの影響により販売台数が大幅に減少し、新車登録台数全体で3,467千台（前年同期比6.7%減）となりました。

中古車流通市場については、登録車および軽自動車ともに登録台数が前年同期実績を上回り、中古車登録台数全体で4,761千台（前年同期比1.8%増）となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

オートオークション市場についても、新車登録台数減少の影響を受けて、出品台数は5,300千台（前年同期比1.4%減）となりましたが、成約台数は3,317千台（前年同期比1.3%増）、成約率は62.6%（前年同期実績60.9%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような環境の中、U S Sグループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高50,361百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益25,323百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益25,878百万円（前年同期比5.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16,485百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

オートオークション

オートオークション市場全体の出品台数が伸び悩む中、U S Sグループの出品台数は、大規模会場を中心に台数が増加し、出品台数は1,730千台（前年同期比1.3%増）、成約台数は1,134千台（前年同期比2.3%増）、成約率は65.6%（前年同期実績64.9%）となりました。さらに、平成27年7月より落札手数料を一部値上げしたことにより、オークション手数料収入が増加しました。

営業費用については、減価償却費、租税公課、消耗品費が減少したものの、商品売上原価が増加しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高38,206百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益24,527百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、好調なオークション相場により販売単価が上昇したことに加え、台当たり粗利益が増加し増収増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、販売単価が上昇したことに加え、人件費などの経費が減少したことから増収増益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高7,422百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益431百万円（前年同期比40.6%増）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、鉄スクラップ相場が低調に推移したことに加え、比較的堅調であった非鉄相場も大幅に下落したことから、減収減益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、主要輸出国における政策変更などにより取扱台数が減少したため、減収減益となりました。

廃ゴムのリサイクル事業については、10月1日付で株式会社カークエストの新設分割により設立した株式会社東洋ゴムチップの全株式を12月1日付で譲渡したことから、当第3四半期連結会計期間の期首をみなし売却日として同社を連結の範囲から除外しております。

この結果、その他事業は、外部顧客に対する売上高4,732百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益201百万円（前年同期比61.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は169,809百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,296百万円減少しました。これは名古屋会場の立体駐車場建設などに伴い建設仮勘定が5,298百万円増加した一方で、オークション貸勘定が4,815百万円、現金及び預金が1,619百万円減少したことなどによるものであります。負債合計は19,361百万円となり、前連結会計年度末と比較して10,706百万円減少しました。これはオークション借勘定が3,917百万円減少したことや、未払法人税等が3,217百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は150,448百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,409百万円増加しました。これは、利益剰余金が6,218百万円増加したことなどによるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、株式会社カークエストの新設分割により設立した株式会社東洋ゴムチップの全株式を譲渡したことから、当第3四半期連結会計期間の期首をみなし売却日として同社を連結の範囲から除外しております。また、株式会社ジャパンバイクオークションの株式を追加取得したことにより当社の議決権

比率が50%を超えたことから、当第3四半期連結会計期間末をみなし取得日として同社を連結の範囲に追加しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4,792百万円減少し、24,670百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13,961百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益25,182百万円（前年同期比1.9%増）、法人税等の支払額11,910百万円（前年同期比11.4%減）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は8,451百万円となりました。これは主に、有価証券の取得による支出13,000百万円（前年同期比28.7%増）、有価証券の償還による収入12,100百万円（前年同期比303.3%増）、有形固定資産の取得による支出5,798百万円（前年同期比222.4%増）、定期預金の純増加額2,000百万円（前年同期比70.1%減）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は10,303百万円となりました。これは主に、配当金の支払額10,266百万円（前年同期比6.3%増）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成27年11月9日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得または売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得または売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

会計上の見積りの変更

（耐用年数の変更）

当社が保有する静岡会場の「建物及び構築物」は、当第2四半期連結会計期間において建て替えを決定しており、これに伴い除却見込みとなる資産について耐用年数を建て替え予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が79百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,862	48,243
オークション貸勘定	7,885	3,069
受取手形及び売掛金	2,963	2,093
有価証券	10,100	10,000
たな卸資産	1,125	688
その他	1,436	1,816
貸倒引当金	△39	△34
流動資産合計	73,334	65,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,070	29,667
土地	57,760	56,949
建設仮勘定	456	5,754
その他(純額)	2,100	1,867
有形固定資産合計	91,388	94,238
無形固定資産		
のれん	—	417
その他	1,137	1,111
無形固定資産合計	1,137	1,528
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,331	8,659
貸倒引当金	△85	△492
投資その他の資産合計	8,245	8,167
固定資産合計	100,771	103,934
資産合計	174,106	169,809
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	9,753	5,835
支払手形及び買掛金	556	252
短期借入金	—	102
未払法人税等	5,916	2,698
引当金	618	319
その他	7,066	4,305
流動負債合計	23,910	13,513
固定負債		
長期借入金	300	196
退職給付に係る負債	149	220
資産除去債務	682	629
その他	5,023	4,800
固定負債合計	6,156	5,847
負債合計	30,067	19,361

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,933	18,930
利益剰余金	149,718	155,936
自己株式	△38,878	△38,789
株主資本合計	148,654	154,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	180
土地再評価差額金	△5,659	△5,732
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	△5,555	△5,551
新株予約権	273	307
非支配株主持分	666	733
純資産合計	144,039	150,448
負債純資産合計	174,106	169,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	49,013	50,361
売上原価	18,803	19,110
売上総利益	30,210	31,251
販売費及び一般管理費	6,155	5,927
営業利益	24,055	25,323
営業外収益		
受取利息	27	38
不動産賃貸料	380	436
雑収入	129	145
営業外収益合計	538	621
営業外費用		
支払利息	0	—
不動産賃貸原価	64	63
雑損失	10	2
営業外費用合計	75	66
経常利益	24,518	25,878
特別利益		
段階取得に係る差益	—	48
固定資産売却益	26	9
投資有価証券売却益	276	—
その他	26	—
特別利益合計	329	57
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	124	101
子会社株式売却損	—	641
その他	—	10
特別損失合計	125	754
税金等調整前四半期純利益	24,722	25,182
法人税等	8,837	8,648
四半期純利益	15,884	16,533
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,759	16,485

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	15,884	16,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	77
退職給付に係る調整額	—	△0
その他の包括利益合計	△122	77
四半期包括利益	15,762	16,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,637	16,562
非支配株主に係る四半期包括利益	124	48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,722	25,182
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	2,663	2,445
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△283	△281
受取利息及び受取配当金	34	71
支払利息	△38	△52
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
子会社株式売却損益 (△は益)	△276	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	—	641
段階取得に係る差損益 (△は益)	66	91
オークション勘定の増減額	—	△48
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,029	975
仕入債務の増減額 (△は減少)	615	462
預り金の増減額 (△は減少)	△186	△163
預り金の増減額 (△は減少)	△1,581	△1,413
その他	725	△2,126
小計	24,445	25,791
利息及び配当金の受取額	59	81
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△13,441	△11,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,062	13,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△6,700	△2,000
有価証券の取得による支出	△10,100	△13,000
有価証券の償還による収入	3,000	12,100
有形固定資産の取得による支出	△1,798	△5,798
有形固定資産の売却による収入	48	14
無形固定資産の取得による支出	△319	△151
投資有価証券の売却による収入	553	—
投資不動産の売却による収入	229	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△117
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 収入	—	630
その他	△157	△128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,245	△8,451
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△192	△129
預り保証金の預りによる収入	147	164
預り保証金の返還による支出	△82	△44
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	173	184
配当金の支払額	△9,656	△10,266
非支配株主への配当金の支払額	—	△147
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△26	△64
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,637	△10,303
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,820	△4,792
現金及び現金同等物の期首残高	34,618	29,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,798	24,670

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオ クション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,586	7,192	43,778	5,235	49,013	—	49,013
セグメント間の内部売上高または振替高	515	0	516	4	520	△520	—
計	37,102	7,192	44,294	5,239	49,533	△520	49,013
セグメント利益	23,104	307	23,411	527	23,939	116	24,055

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビツの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等でありませ

2. セグメント利益の調整額116百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオークション	中古自動車等買取販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,206	7,422	45,629	4,732	50,361	—	50,361
セグメント間の内部売上高または振替高	426	0	426	3	430	△430	—
計	38,633	7,422	46,055	4,736	50,791	△430	50,361
セグメント利益	24,527	431	24,959	201	25,160	162	25,323

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビツの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等でありませぬ。

2. セグメント利益の調整額162百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日と比べ、当第3四半期連結会計期間の「その他」の区分の資産の金額は、2,986百万円減少しております。これは主に、株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業を承継した株式会社東洋ゴムチップの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことによるものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「オートオークション」セグメントにおいて、株式会社ジャパンバイクオークションの株式を追加取得し、連結の範囲に追加したことにより、のれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において417百万円であります。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	490	503	2.7	700
営業利益	240	253	5.3	352
経常利益	245	258	5.5	359
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	157	164	4.6	234

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	93	93	0.2	131
成約手数料	86	89	3.5	123
落札手数料	123	131	6.7	181
商品売上高	8	10	30.2	15
その他の営業収入	54	56	4.1	75
オートオークション計	365	382	4.4	528
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	47	49	4.6	72
事故現状車買取販売	24	24	0.5	34
中古自動車等買取販売計	71	74	3.2	106
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	38	36	△5.6	51
廃ゴムのリサイクル	8	6	△27.2	6
中古自動車の輸出手続	4	4	△10.8	6
代行サービス	0	0	0.2	0
その他	0	0	0.2	0
その他計	52	47	△9.6	65
合計	490	503	2.7	700

※廃ゴムのリサイクルについては、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	27年3月期	28年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	21	59	180.9	100
完工ベース	28	10	△62.0	100
減価償却費	25	23	△6.8	32